



米国東部支部十五周年に寄せて

米国東部支部が設立十五周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

上野隆司支部長はじめ支部のあゆみを支えて来られたすべての皆さまに敬意を表し御礼を申し上げます。

本年七十周年を迎えるハワイ支部、昨年五十周年記念行事を催された北加・南加両支部の皆様方も一堂に会し祝意を交わし合えますこと、ご同慶の至りに存じます。

さて、米国東部支部は二〇一〇年六月に発会されました。私もその記念行事に参加し、お祝いのひとときを共に過ごさせていただきました。同門会には五十七の支部がありますが東部支部はもっとも新しい支部であり、私が発会に立ち会った唯一の支部でもあります。それだけに当時のことを感慨深く思い出すとともに、十五年の時の流れに思いをいたします。

発会式で印象に残っていることの一つは、上野支部長が述べておられた「日米の懸け橋に」という言葉です。茶の湯の心と美を通じて文化交流に尽くす、日米の文化を深く理解し合い豊かな関係を構築する、という願いは、支部の皆さまの日々のご精進によって着実に深まり広がっていることでしょう。

折しも今年は第二次世界大戦が終戦して八十年という節目を迎えます。両国の先人たちの尊い志に思いを馳せつつ、このたびの記念行事の意義を皆さまと共に分かち合えればと思っております。

米国東部支部の益々のご発展と本日お集りの皆さまの弥栄を祈念し、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

表千家家元

千宗左